

Colors, Future!

いろいろって、未来。

多様性は、あたたかさ。多様性は、可能性。

川崎は、1色ではありません。

あかるく。あざやかに。重なり合う。

明日は、何色の川崎と出会おう。

次の100年へ向けて。

あたらしい川崎を生み出していこう。



川崎市

多摩川は今

令和3年度

川崎市新多摩川プラン実施事業報告書

事務局：川崎市建設緑政局緑政部みどりの事業調整課

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1

電話：044(200)1200

FAX：044(200)3973

E-mail：53mityo@city.kawasaki.jp



多摩川は今



令和3年度 川崎市新多摩川プラン実施事業報告書



新多摩川プランについて

「多摩川は今」について

川崎市では、市民の心のふるさとと呼べる多摩川を市民共有の財産として再評価し、より豊かな河川空間の創出を目指すため、平成19年3月に「川崎市多摩川プラン」を策定し、平成28年3月に「川崎市新多摩川プラン」として改定しました。
本書は、「川崎市新多摩川プラン」に基づく取組を広く市民の皆様知ってもらうとともに、実施事業を着実に進めていくため、年度ごとの実績を「多摩川は今」としてとりまとめたものです。

新多摩川プランの施策体系

新多摩川プランは、多摩川プランから約10年間に变化した社会情勢や自然環境、市民のニーズをふまえて、川崎のシンボルである「ふるさとの川・多摩川」の歴史的・文化的資源、そして環境資源を最大限に活かしたにぎわいの場(憩い、遊び、学ぶ)の創出を目指しています。
基本理念に基づき5つの基本目標を設定し、基本目標に対して30の推進施策と100の実施事業を位置付けています。

基本理念

「川とふるさとの再生 市民協働による多摩川ライフの創造」

多摩川は限りない可能性を有した存在であり、大都市の中を流れる自然豊かな大河川で「川崎の母なる川」となっています。市民共有の財産として再評価し、豊かな河川環境の創出を目指して、市民・企業・学校・行政との協働により、より魅力的な豊かな多摩川を持続的に育むしくみづくりをめざします。

基本目標	推進施策	実施事業
I 自然と調和した美しい多摩川へ	1. 河原風景の保全 2. 花と緑のある川づくりの推進 3. 水と緑のネットワーク 4. 水環境の向上 5. 多自然川づくりの推進 6. 生物多様性の保全に向けた普及啓発等の推進	100の実施事業
II 多摩川を知り災害から市民を守る	7. 治水の強化・防災性の向上 8. 緊急河川敷道路の整備 9. 防災教育の推進 10. 河川敷を利用した防災訓練の実施 11. 防災情報の発信	
III 子どもの生きる力を育む場の創造	12. 歴史的・文化的資源の収集・伝承 13. 「ふるさと資産・遺産」の活用 14. ニヶ領用水を活かしたまちづくりの推進 15. 環境学習・環境教育の推進 16. 水辺の楽校の展開	
IV みんなの暮らしに寄り添う多摩川へ	17. アクセスの向上 18. 施設の再配置・再配備 19. サイクリングコースの充実 20. 施設の充実 21. 管理水準の向上 22. 河川空間の新たな利用促進 23. 河川敷レジャー利用の適正化 24. 自然エネルギーの利用 25. ホームレスの自立支援策の推進	
V つながりを深めて魅力的な流域へ	26. 流域自治体等との協働・推進 27. 多様な主体を支えるシステムづくり 28. 多摩川を活用したイベントの開催 29. 総合的な情報共有・受発信 30. 市民参加の川づくり	

令和3年度の多摩川プラン事業について

新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、実施の中止となった事業やイベントもありましたが、NPO法人との環境学習や多摩川の河川敷の新たな利活用に向けたイベントなど、試行錯誤を行いながら実施できた事業もあり、コロナ禍ではありつつも、今後の多摩川河川敷の賑わい創出の可能性を見いだしました。また引き続き多摩川のマラソンコースの補修や、かわさき多摩川ふれあいロードの未舗装部分の延伸に向けて設計を行うなど、令和元年度東日本台風からの復旧を感じ取る1年ともなりました。

目次

新多摩川プランについて 1

I. 自然と調和した美しい多摩川へ 2
 河原風景の保全(推進施策No.1) 2
 花と緑のある川づくりの推進(推進施策No.2) 2
 水環境の向上(推進施策No.4) 3
 コラム(緑の基本計画) 3

II. 多摩川を知り 災害から市民を守る 4
 治水の強化・防災性の向上(推進施策No.7) 4
 防災教育の推進(推進施策No.9) 4
 河川敷を利用した防災訓練の実施(推進施策No.10) 4
 防災情報の発信(推進施策No.11) 4

III. 子どもの生きる力を育む場の創造 5
 歴史的・文化的資源の体系的収集・保存 5
 (推進施策No.12) 5
 「ふるさと資産・遺産」の活用(推進施策No.13) 5
 環境学習・環境教育の推進(推進施策No.15) 6
 コラム「多摩川の黄金色のなまず」たまずん 6
 環境学習・環境教育の推進(推進施策No.15) 7
 コラム ニヶ領用水 7
 水辺の楽校の展開(推進事業No.16) 8

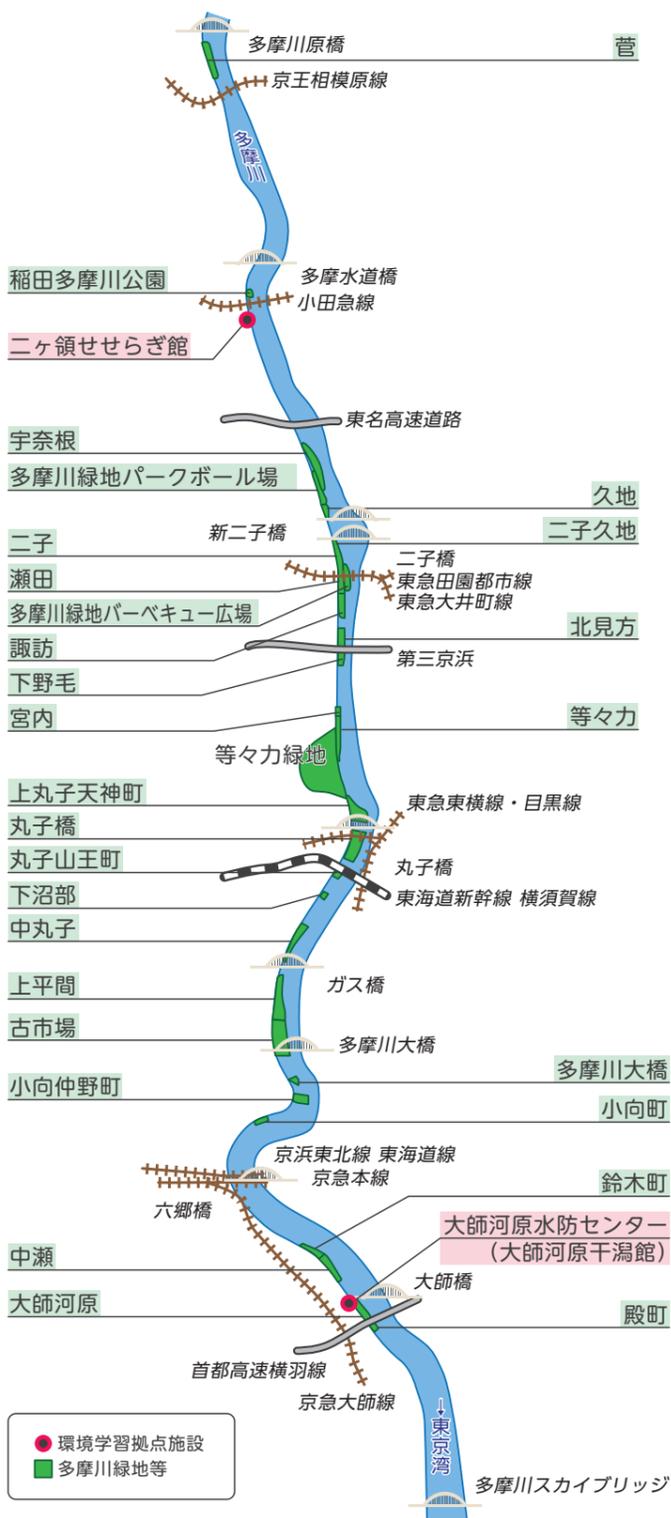
IV. 多摩川とともに歩む みんなの暮らし 9
 かわさき多摩川ふれあいロードの安全性の向上 9
 (推進事業No.19) 9
 施設の充実(推進事業No.20) 9
 河川敷のレジャー利用の適正化(推進事業No.23) 10

V. つながりを深めて魅力的な流域へ 11
 多様な主体を支えるシステムづくり 11
 (推進事業No.27) 11
 多摩川を活用したイベントの開催(推進事業No.28) 11
 総合的な情報共有・受発信(推進事業No.29) 12
 コラム 多摩川スカイブリッジの开通について 13

VI. 巻末資料 14

●表紙の写真について

- メイン写真(下)
多摩川の高津区宇奈根で釣れた黄金色のなまず「たまずん」
- サブ写真(左上から順に)
多摩川上流体験・ヤマトオサガニ・とどろき水辺の楽校での昆虫採集・パークボール場・水玉キッズ干潟観察会の様子・令和元年度東日本台風より復旧したマラソンコース(高津区二子付近)・丸子橋社会実験で実施したキャンプ体験



I. 自然と調和した美しい多摩川へ

都市における貴重な水と緑のオープンスペースである多摩川は、都市景観を形作る主たる要素であります。そんな多摩川を市民の記憶に残る風景となるよう、より自然豊かな多摩川の再生を推進しています。

① 河原風景の保全(推進施策 No.1)

○稲田堤、二ヶ領用水、等々力、大師橋、殿町地区周辺などの桜並木の復活・保全

桜並木は、川崎における多摩川の原風景の一つであり、河川風景においても貴重な資源であります。市内の桜並木の場所については、「多摩川であそぼう！かわさき今昔あそびマップ」で確認できます。

令和3年度も引き続き、等々力地区や殿町地区の桜の適切な維持管理を行いました。



多摩川であそぼう
かわさき今昔あそびマップ

詳しくは
コチラ▼



② 花と緑のある川づくりの推進(推進施策No.2)

○御幸公園における梅香事業の展開

梅香事業は、幸区の魅力であり資源である御幸公園に、植樹事業として梅林を市民と復活させるとともに、憩いの場、集いの場となり、地域コミュニティの活性化につながることを目的に実施しています。

○令和3年度うめかおる写真展

地域コミュニティの活性化一環として、梅をより身近に感じてもらうことを目的とした「令和3年度うめかおる写真展」を開催しました。

令和3年度は、御幸公園で開催された観梅会の様子や、市内外各地の梅の写真など、合計208点の多彩な作品が集まりました。

テーマ「うめかおる風景」

梅の花や果実、梅林、梅のある風景、梅にちなんだ祭りの様子など、梅に関する写真



詳しくは
コチラ▼

●展示期間・場所

1. 令和3年4月1日(木)～4月15日(木)
幸区役所1階 ロビーハナミズキ
2. 令和3年5月7日(金)～5月18日(火)
日吉出張所1階 タウンホールやまぶき
3. 令和3年7月5日(月)～7月16日(金)
中原区役所5階 廊下



幸区長賞受賞作品【希望の春】



タウンニュース賞受賞作品
【梅がきれいだね】

③ 水環境の向上(推進施策 No.4)

○生活排水対策の推進、湧水池の保全、地下水の涵養、雨水流出抑制、維持用水の導入

川崎市では、有効な水環境保全のため、雨水浸透施設の推進と地下水揚水量の管理、湧水池の維持管理を行っています。

湧水池は、貴重な水辺であり、サワガニやホトケドジョウ等の希少な生物を育てている地下水が地表に現れた最初の場所で、地下水の量や質などの状況を把握できる貴重な場所です。

平成15年度、平成16年度に行った多摩川・鶴見川水系の湧水池調査結果を基に、湧水池が確認された多摩川水系199箇所、鶴見川水系252箇所の同じ箇所について、平成24年度、平成25年度に現況把握を行いました。その結果、枯渇等により多摩川水系では30箇所、鶴見川水系では32箇所減少しています。また、ほとんどが、毎分20リットル以下のいわゆる「しぼり水」であり、雨水のかん養が減少している現状があります。

湧水池の整備については、「川崎市大気・水環境計画」(令和4年3月策定)に基づき、地下水の重要な役割を理解してもらう普及・啓発の施策として市民団体等と協力しながら取り組んでいます。



湧水池の様子(左:とんもり谷戸【宮前区】右:緑ヶ丘霊園【高津区】)

湧水池について
詳細は
コチラ▼



■コラム(川崎市の緑地保全制度について)

○川崎市の緑地保全制度

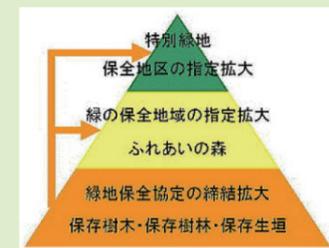
川崎市では、『緑の基本計画』内の基本方針内の重要な取り組みとして緑地保全施策を進めています。令和4年3月末では、法に基づく『特別緑地保全地区』、緑の条例に基づく『緑の保全地域』・『保存樹林』、要綱に基づく『緑地保全協定』・『ふれあいの森』の施策により、約251haの緑地等が保全されています。今後も、多摩丘陵と多摩川崖線の緑を守り育て、次世代へ継承していくために、樹林地を所有する方々の御理解と御協力をいただきながら、緑地保全等の取り組みに努めます。

○緑の基本計画

川崎市では、平成7年に策定した『緑の基本計画』を平成20年に改定し、施策を推進しましたが、社会情勢の変化を踏まえ、平成30年3月に改定を行いました。

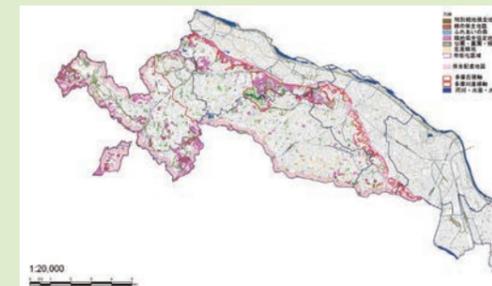
『緑の基本計画』は多様な緑が市民をつなぐ地球環境都市かわさきへを基本理念としており、緑の保全及び緑化の推進に関する施策を総合的に進める計画です。

緑地保全制度の詳細については
コチラ▼



川崎市の緑地保全施策概念

川崎市緑の基本計画については
コチラ▼



緑地保全施策の状況

自然と調和した
美しい多摩川へ

多摩川を知り
災害から市民を守る

子どもの生きる力を
育む場の創造

多摩川ともに歩む
みんなの暮らし

つながりを深めて
魅力的な流域へ

自然と調和した
美しい多摩川へ

多摩川を知り
災害から市民を守る

子どもの生きる力を
育む場の創造

多摩川ともに歩む
みんなの暮らし

つながりを深めて
魅力的な流域へ

Ⅱ.多摩川を知り 災害から市民を守る

全国的な水害の発生を踏まえ、防災に関する情報の必要性を再認識し、市民の防災教育を推進するとともに、災害時に迅速に対応できるよう河川敷を利用した防災訓練を推進しています。また、国と連携し、市街地の安全を守るため堤防等の整備を促進しています。

① 治水の強化・防災性の向上(推進施策No.7)

○多摩川水系河川整備計画(国)

『多摩川水系河川整備計画』とは、多摩川の自然の脅威から人々の生活を守るとともに、かけがえのない自然の恵みを楽しみ、次世代に継承するなど、河川の総合的な保全と利用を図ることを目的に国土交通省により設定されたものです。治水に関する5つの目標を設定し、その達成に向け様々な取り組みを実施しています。

多摩川水系河川整備計画では、治水整備を行い、戦後最大規模の洪水(昭和49年9月洪水)を安全に流すことを治水目標としています。



○多摩川緊急治水対策プロジェクト



出典:京浜河川事務所ホームページを参考に作成

●令和元年度の東日本台風により甚大な被害が発生した多摩川において、国・都・県・市区が連携し、『多摩川緊急治水対策プロジェクト』を進めています。以下の施策を実施することで「社会経済被害の最小化」を目指します。

- ①被害の軽減に向けた治水対策の推進【河川における対策】
- ②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進【流域における対策】
- ③減災に向けた更なる取組の推進【ソフト施策】



詳しくはコチラ▶

② 防災教育の推進(推進施策No.9)

○水辺の安全事業(水辺の楽校)

一旦事故が起こると、命に係わる重大事故となる可能性が高いのが、水難事故の特徴です。水辺で安全に楽しく遊ぶため、川の危険箇所などの知識や身を守る方法を学習する場として、川流れ体験を行っています。

●川の安全教室(主催:とどろき水辺の楽校)

- 1 開催日 : 令和3年7月18日(日)
- 2 場所 : 中原区 等々力周辺河川敷
- 3 参加人数: 20名

ライフジャケットの重要性や着用方法、川で流されてしまった時の受身の姿勢や、救助方法を体験したほか、座学では、川で遊ぶときの服装、シューズ、その他メガネのストラップの準備などについて学びました。



川の安全教室の様子(令和3年7月18日)

詳しくは
コチラ▶



③ 河川敷を利用した防災訓練の実施(推進施策No.10)

○河川敷における総合防災訓練などの実施

台風や局地的集中豪雨による水難事故及び風水害に備えて、防災関係機関との連携強化と被害の軽減を目的として、市内8消防署において水防訓練及び水防資器材の取扱いを実施しています。



出水期に備えた
防災訓練の様子
令和3年6月12日

詳しくは
コチラ▶

④ 防災情報の発信(推進施策No.11)

○洪水ハザードマップの改訂・周知

洪水ハザードマップは、河川が氾濫した場合に、浸水が想定される範囲とその程度、及び地域の避難場所を示した地図です。各区毎に作成しており、河川課、危機管理本部、各区役所危機管理担当、支所、出張所、かわさき情報プラザにて配布しています。

浸水エリアと継続時間が色分けされています。日頃の備えや災害時に役立つ情報も!

詳しくは
コチラ▶



Ⅲ.子どもの生きる力を育む場の創造

多摩川は、都市にある貴重な環境資源であるとともに、古くから市民生活と深く関わりがあり歴史や文化を築いてきました。多摩川での体験や環境学習などを通じて、知識や経験を伝承するため、子ども達の豊かな心と身体の育成を目指します。

① 歴史的・文化的資源の体系的収集・保存(推進事業No.12)

○多摩川スピードウェイ跡地の保存

多摩川スピードウェイは、昭和11年に丸子橋近くの多摩川河川敷に開場された日本初の常設サーキットです。

サーキット閉場後は、野球場等の市民の憩いの場になりましたが、堤防に造られた観客席は戦前の姿をそのまま残す稀有な例であることから、平成28年にレース関係者等で構成される「多摩川スピードウェイの会」が80周年記念プレートを設置し、川崎市に寄贈されました。また、同年には開設80周年記念展を川崎市市民ミュージアムで開催し、約2000人の来訪がありました。

令和3年には、台風等の災害から地元住民を守るために、河川管理者である国土交通省による堤防改修工事に伴い、観客席跡地は撤去されましたが、多摩川スピードウェイの会、国土交通省、川崎市の三者で協議し、新たな記念プレートと観客席の一部が堤防上の「かわさき多摩川ふれあいロード」沿いに設置される予定です。



撤去前の観客席跡地(令和3年7月撮影) 影



80周年記念プレート 影

② 「ふるさと資産・遺産」の活用(推進事業No.13)

○川崎河港水門など市が管理する地域資源の保存及びガイドマップによる紹介

川崎区では、川崎区で暮らす人(生活市民)と川崎区で働く人(企業市民)、さらに区役所を含めた三社が一体となってまちづくりを推進するため、「川崎区企業市民交流事業」を推進しています。

本事業の具体的な取組の一つとして、地元川崎区の人はもちろん、他の地域の方にも川崎区の魅力をアピールできる「かわさき区の宝物」を選定し、広くPRしています。

現在、183の「宝物」が「宝物シート」としてホームページで公開されており、多摩川では【川崎河港水門】が登録されています。この「宝物」の魅力を知ってもらうためのツールとして「かわさき区宝物ガイドマップ」や「かわさき産業ミュージアムガイドブック」を作成し、様々な機会を捉えて配布しています。



かわさき区魅力発見
『宝物ウォーキング』
についてはコチラ▶



かわさき区の
宝物について
はコチラ▶



自然と調和した
美しい多摩川へ

多摩川を知り
災害から市民を守る

子どもの生きる力を
育む場の創造

多摩川ともに歩む
みんなの暮らし

つながりを深めて
魅力的な流域へ

自然と調和した
美しい多摩川へ

多摩川を知り
災害から市民を守る

子どもの生きる力を
育む場の創造

多摩川ともに歩む
みんなの暮らし

つながりを深めて
魅力的な流域へ

Ⅲ.子どもの生きる力を育む場の創造

③ 環境学習・環境教育の推進(推進施策No.15)

○市民団体や学校などにおける環境保全活動等への支援

川崎市では、市内小中学校や各種団体に向けて、多摩川の植物や魚、野鳥についての観察会の開催等により環境学習・環境教育に取り組んでいます。環境学習の対応については、市民団体がを行っています。

令和3年度は、『ニヶ領せせらぎ館』『大師河原水防センター』『中原区等々力地先』の3拠点を中心に75回程度開催し、2,475名が受講しました。また、多摩川アユの啓発として、クリアファイルを作成し、市内の小中学校4年生に配布しました。

環境学習では、生き物観察だけでなく、プラスチックゴミなどの環境問題なども取り上げており、日頃から3Rを実践することが、生物を守るうえでも大事であることを子供達に伝えています。



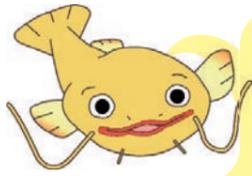
環境学習の様子



多摩川アユのクリアファイル



詳しくは
こちら



■コラム 「多摩川の黄金色のなまず」たまずん

令和2年6月に多摩川の高津区宇奈根で釣れた黄金色のなまず、「たまずん」について本年度の動向をお知らせします。



●黄金さかな博~多摩川で発見!!"黄金色のナマズ"

- 開催期間
令和3年4月20日(火)~6月30日(水)
- 場所
カワスイ 川崎水族館

「たまずん」を含めた、世界の水辺に生息する美しい黄金色のさかなたち全9種300点を展示。
会場のカワスイホールの特設ブースでは、黄金色のナマズ「たまずん」と水中さんぽの疑似体験を楽しむことができるフォトブースも登場しました。

●多摩区総合庁舎への展示

- 開催期間
令和3年10月1日(金)~12月28日(火)
土・日曜、祝日を除く平日9:00~17:00
- 場所
多摩区総合庁舎1階
アトリウム「ミニ水族館」

多摩区役所では、「ミニ水族館」として多摩川に生息する淡水魚等を飼育・管理し、区民が身近に親しむ機会を提供しています。

●特別住民票の交付

区役所での展示の際、多くの来庁者に笑顔と癒しを与えてくれるなど、広く多世代から愛されているたまずんが、多摩区の魅力発信につながるとして、多摩区役所では初めて、多摩区特別住民票を交付することになりました。

●特別住民票とは・・・?

市区町村などの自治体が、人や動物、キャラクターなどに対して交付する住民票のことで、観光PR、地域振興を目的に交付されることが多いです。住民基本台帳法や戸籍法の適用は受けず、特別住民票の交付を受けたとしても、それによる法的な保障はありません。



新水槽お披露目



詳しくは
こちら

川崎市ではこれまでに

- ・平成23年1月27日 漫画『天体戦士サンレッド』ヴァンプ将軍(高津区役所)
- ・平成24年9月3日 ドラえもん(川崎市市民文化局) の2件の交付事例があります。

Ⅲ.子どもの生きる力を育む場の創造

④ 環境学習・環境教育の推進(推進施策No.15)

○水たまキッズ

平成30年度から年間を通じて水辺の楽校のイベントに参加するなど、多摩川により興味関心を引き出す機会を増やすことで環境学習と次世代を担う人材育成の推進を行っています。

水たまキッズとは、年間を通して水辺の楽校や多摩川の体験活動に参加する本市が公募で選定した小学校5年生の子ども達です。

●令和3年度の活動内容

	実施日	活動内容		実施日	活動内容
第1回	令和3年8月4日(水)	多摩川上流域(東京都福生市)で生き物観察体験	第4回	令和3年11月13日(土)	多摩川河口で干潟観察会
第2回	令和3年9月19日(日) 【中止】	水辺の安全教室(川流れ・ボード体験)	第5,6,7回	令和3年12月19日(日)	多摩川の発見とまとめ
第3回	令和3年10月16日(土)	多摩川河口でハゼ釣り教室		令和4年1月16日(日)	
				令和4年2月6日(日)	

●第1回 多摩川上流域で生き物観察体験

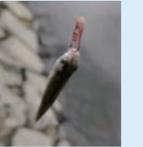
多摩川において、下流部あるいは上流部にしか生息しない生物を比較する中で、多摩川本流の生態系や生物の生息域を知り、多摩川の自然環境の認識と環境保全の精神などを醸成するため、上流部である福生市において生物観察を行いました。



生き物観察体験の様子(令和3年8月4日)

●第3回 多摩川河口でハゼ釣り教室

多摩川河川敷にある大師河原水防センターにおいて、ハゼ釣り教室を実施し、釣り糸の結び方からハゼのさばき方の講習を行いました。



実施時に釣れたハゼ(令和3年10月16日)

●第4回 多摩川河口で干潟観察会

大師河原水防センターにて、多摩川の河口の生き物を理解してもらうために干潟観察会を実施しました。



干潟観察会の様子(令和3年11月13日)

●第5~7回 多摩川の発見とまとめ

これまでの活動や多摩川について関心のあることをまとめ、多摩川についての学びを深めるとともに、シンポジウムに向けた発表練習もおこなわれました。



発表の詳細は
こちら

●多摩川水辺の楽校シンポジウム川崎とは

新多摩川プランに基づき、多摩川流域の水辺の楽校等水辺を生かした活動を行う団体の連携強化を目的に設けています。子どもたちが水辺の楽校での活動を通じて学んだ自然や文化について、子どもの目線から多摩川の魅力を発信する場でもあります。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため会場開催を中止としました。

■コラム ニヶ領用水

●ニヶ領用水とは

ニヶ領用水とは、慶長16(1611)年に竣工した我が国最古の農業用水です。江戸時代に稲毛領と川崎領にまたがって開削されたことに、その名は由来します。網目のように設けられたこの用水を中心に地域共同体が形成され、川崎市の骨格をつくり上げていました。

●ニヶ領用水総合基本計画

【ニヶ領総合基本計画】とは、水文化都市川崎の創造を基本理念としてニヶ領用水を川崎市の都市環境の姿を示すシンボルとして捉え、川崎市固有の環境・歴史的資源として次世代の街・人々に継承し、持続的な社会の構築に向けて活用していくことを目的としています。

ニヶ領用水の概要や歴史については
こちら



ニヶ領用水総合基本計画については
こちら



自然と調和した美しい多摩川へ

多摩川を知り災害から市民を守る

子どもの生きる力を育む場の創造

多摩川ともに歩むみんなの暮らし

つながりを深めて魅力的な流域へ

自然と調和した美しい多摩川へ

多摩川を知り災害から市民を守る

子どもの生きる力を育む場の創造

多摩川ともに歩むみんなの暮らし

つながりを深めて魅力的な流域へ

Ⅲ.子どもの生きる力を育む場の創造

⑤ 水辺の楽校の展開(推進事業No.16)

水辺の楽校は、国土交通省が文部科学省、環境省と連携して進めているプロジェクトで、水辺をフィールドに子供たちが川に親しむ自然体験活動を推進しています。川崎市内ではだいし・とどろき・かわさきの3校が活動をしており、川崎市はその活動のサポートをしています。

令和3年度は、それぞれの活動について、人数を制限する等、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施しました。1年間の活動の発表の場として、多摩川水辺の楽校シンポジウムを動画配信により実施する予定です。

○3校合同干潟観察会

- 開催日
令和3年6月13日(日)
- 場所
川崎区大師河原
水防センター
- 人数
54人



干潟観察会(令和2年6月21日)



干潟観察会(令和2年6月21日)

詳しくは
コチラ▼



○だいし水辺の楽校

- 開催回数
10回
- 場所
川崎区大師河原
水防センター
- 人数
509人



ハゼ釣り教室
(令和2年10月3日)



干潟観察会
(令和2年11月14日)

詳しくは
コチラ▼



○とどろき水辺の楽校

- 開催回数
6回
- 場所
中原区等々力地先河川敷
- 人数
351人



干潟(令和2年9月20日)



昆虫教室(令和2年10月4日)

詳しくは
コチラ▼

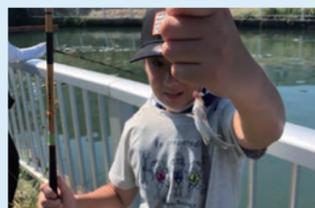


○かわさき水辺の楽校

- 開催回数
7回
- 場所
多摩区二ヶ領用水
- 人数
702人



二ヶ領用水取水口での魚釣り(令和3年10月3日)



詳しくは
コチラ▼



Ⅳ.多摩川とともに歩む みんなの暮らし

誰もが利用しやすく、過ごしやすい多摩川を目指して、サイクリングコースやバーベキュー場、運動施設などの整備を行っています。



① かわさき多摩川ふれあいロードの安全性の向上(推進施策No.19)

平日には通勤・通学路として、休日にはランニングや散歩、サイクリングとたくさんの人に利用されているかわさき多摩川ふれあいロードを、さらに便利かつ安全に利用してもらうため、通路の拡幅や未整備区間の延伸、利用についての路面標示の整備等を実施しています。

スケジュール		国の課金整備後に着手					
年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
延伸整備	布田地区	舗装整備・舗装整備					
	港町地区						
	小向地区			ルート調整・測量・整備			
拡幅整備	戸手地区						舗装整備
	第2区間						
路面標示整備	路面標示・マナー啓発表示の充実						
その他(コース名称等)				愛称募集			

●かわさき多摩川ふれあいロードの延伸整備

幸区が多摩川大橋から戸手4丁目北地区の未整備区間について、本年度より延伸を順次進めていきます。多摩川大橋から川崎市幸区小向地先約0.9kmについてサイクリングコースとして川崎市で管理するとともに、そのうち約250mの区間において舗装整備を行います。

●安全に通行するための拡幅整備

令和3年度は、上平間地区にて、幅員2mから3mに拡幅整備を実施しました。今後も、狭隘区間の拡幅を順次進めていきます。



拡幅前



拡幅後

●コース上の路面標示の設置など利用環境向上に向けた取組

登戸地区のかわさき多摩川ふれあいロード上に、自転車のスピードを抑制するハンプと、多摩川への案内路面標示を新たに設置しました。



登戸地区に設置したハンプ



案内路面標示

② 施設の充実(推進施策No.20)

河川敷の運動施設やマラソンコースなど、多くの利用者が安全で快適に利用していただくため、施設の補修や再整備を行っています。

○簡易水洗トイレの整備

河川敷に配置されている【便槽一体型トイレ】を【簡易水洗トイレ】に更新しています。令和3年度は多摩区の稲田多摩川公園内と高津区の二子地区に、それぞれ簡易水洗トイレを1基ずつ、合計2基整備しました。



設置前



設置後

自然と調和した
美しい多摩川へ

多摩川を知り
災害から市民を守る

子どもの生きる力を
育む場の創造

多摩川とともに歩む
みんなの暮らし

つながりを深めて
魅力的な流域へ

自然と調和した
美しい多摩川へ

多摩川を知り
災害から市民を守る

子どもの生きる力を
育む場の創造

多摩川とともに歩む
みんなの暮らし

つながりを深めて
魅力的な流域へ

IV.多摩川とともに歩む みんなの暮らし

③ 河川敷のレジャー利用の適正化(推進施策No.23)

○多摩川丸子橋河川敷の新たな利活用に向けた社会実験

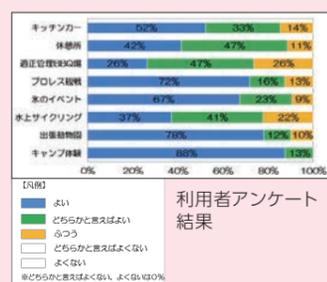
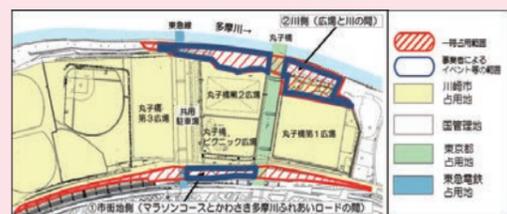
多摩川の丸子橋周辺河川敷においては、運動やピクニック等、多くの利用者で賑わっています。一方で、当該地やその周辺の住宅街において、バーベキュー利用者によるゴミの不法投棄や騒音等の課題も生じています。

そのため民間事業者による水辺の賑わい創出などの可能性を検証し、今後の水辺活用にに向けた検討の参考とするため、「多摩川丸子橋河川敷の新たな利活用に向けた社会実験」を実施しました。

社会実験の結果、ゴミの不法投棄等の課題が少なくなっているとともに、イベント等によりにぎわいの創出が図れ、利用者・周辺住民のアンケートでも好意的な意見が多かった一方、新型コロナウイルス感染症の影響により寒い時期での開催で期間も短く、地域イベント等との連携や事業性の確認等ができませんでした。

こうした状況から、令和4年度は民間活力導入に向けた検討として、集客が見込まれる夏等を含み、事業者との協働によるイベント等の社会実験を実施します。

場所：中原区上丸子八幡町地先の河川敷(下図)
事業候補者：多摩川緑地バーベキュー広場共同事業体



社会実験に
関することは
コチラ

■バーベキュー(グランピング・資機材レンタルなど)

実施位置：川側
期間：10/18~11/30の月土日祝
計26日間
利用者：104名(25組)
概要：機材のレンタル等を実施。



■キッチンカーによる市民の憩いの場の提供

実施位置：市街地側
期間：10/18~(継続実施中) 土日祝
利用者数：約300名(10、11月の8日間)
概要：コーヒー等のキッチンカー・机・椅子を配置。日によって、薪ストーブやペット用のゲージ等も設置。



●プロレスイベント『タマプロレス』

開催日：令和3年10月24日(日)
参加人数：23名
プロレスラーによるシングルマッチ2試合とタッグマッチ1試合を実施したほか、プロレスラーと一緒にプロレス教室や河川クリーンナップ活動を行いました。



シングルマッチ 河川クリーンナップ活動

●氷のタマニーランド

開催日：令和3年10月30日(土)~31日(日)
参加人数：195名
子どもたちが純氷で遊んで学べる体験イベントを開催しました。



氷のスライダー関連 雪あそび広場

●タマちゃん水上サイクリング&タマタマ動物園

開催日：令和3年11月6日(土)~7日(日)
参加人数：29名(タマちゃんサイクリング)
参加人数：353名(タマタマ動物園)
多摩川の水面をプカプカサイクリングできる魔法の自転車を体験。また、ウサギやヤギなどふれあえるほか、ポニー乗馬も体験できる出張動物園を設置しました。



魔法の自転車 出張動物園

●タマキャンプ

開催日：令和3年11月13日(日)
参加人数：28名(9組)
多摩川河川敷にて1泊キャンプを体験できる完全予約制のイベントを実施しました。



1泊キャンプの様子

V.つながりを深めて魅力的な流域へ

流域自治体や市民、活動団体、企業、学校など多様な主体が協働・連携することで、流域全体の交流を促進し、多摩川の魅力向上に向けた取組を推進しています。また、地域の特性を活かしたイベントを開催し、市民のふるさととなる川づくりを推進しています。

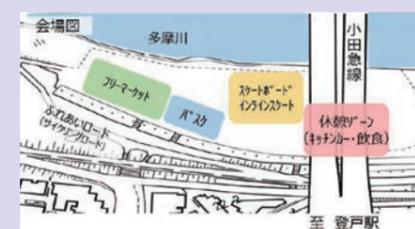
① 多様な主体を支えるシステムづくり(推進施策No.27)

② 多摩川を活用したイベントの開催(推進施策No.28)

多様な主体が多摩川づくりに参画できるように、市民から行政まで、多様な主体の協働による取組を推進しています。

○多摩川河川敷エリア利活用イベント『登戸・多摩川 カワノバ』

- 開催日
令和3年11月27日(土)
- 場所
多摩川河川敷(登戸地区広場周辺)
- 来場者数
約1500名



詳しくは
コチラ

本エリアは、運動やピクニック等、多くの利用者でにぎわう一方で、バーベキュー利用者によるゴミの不法投棄や騒音等の課題も生じています。本イベントは、地域の皆様や関係企業・団体等と連携し、現状の課題と多様なニーズに対応した多摩川河川敷の利活用を検討していくための取組として実施しました。

当日は、ストリートカルチャーとして育まれてきたスケートボード等の無料体験会やプロスケーター等によるパフォーマンスを実施したほか、川崎ブレイブサンダースによるフリースローチャレンジ「出張Touch Hoops」、キッチンカーや地域店舗による飲食物の提供、フリーマーケットや各種PRブースなどの展開を行い、一日を通して河川敷で各種アクティビティを楽しみました。

【主なコンテンツ】

- (1) スケートボード・インラインスケート
 - ・未経験者を対象とした無料体験会
 - ・プロスケーターによるパフォーマンス(観覧無料)
 - ・1日限定スケートパーク(利用無料、ヘルメット着用必須)
- (2) バasketボール
 - ・川崎ブレイブサンダースによる、「出張Touch Hoops」(フリースローチャレンジ)の実施(予約不要、参加無料)
- (3) キッチンカー・飲食店の出店
 - ・キッチンカーによる軽食・ドリンクの提供
 - ・地域の店舗による飲食物の販売等
 - ・多摩SDCによる「SDC食堂」
- (4) フリーマーケット(多摩SDC)
- (5) ドッチボール教室(多摩SDC)
- (6) PRブース
 - ・ニヶ領せせらぎ館PRブース
 - ・みどりの普及啓発PRブース



スケートボード無料体験会



フリーマーケット



カワノバ開催時の様子

※SDC(ソーシャルデザインセンター)：各区において、多様な主体の連携により、市民創発によって課題解決する区域レベルの新たなしくみのこと

自然と調和した
美しい多摩川へ

多摩川を知り
災害から市民を守る

子どもの生きる力を
育む場の創造

多摩川とともに歩む
みんなの暮らし

つながりを深めて
魅力的な流域へ

自然と調和した
美しい多摩川へ

多摩川を知り
災害から市民を守る

子どもの生きる力を
育む場の創造

多摩川とともに歩む
みんなの暮らし

つながりを深めて
魅力的な流域へ

V.つながりを深めて魅力的な流域へ

③ 総合的な情報共有・受発信(推進施策No.29)

○多摩川の拠点施設を活かした情報共有・受発信

二ヶ領せせらぎ館や大師河原水防センターの拠点施設から、多摩川をより身近に感じてもらうため、市民目線で集めた情報の発信を行っています。

○二ヶ領せせらぎ館

国土交通省が管理する二ヶ領宿河原堰管理事務所の一部を、防災活動、自然環境、歴史や文化の情報発信・環境学習の拠点として、川崎市とNPO法人多摩川エコミュージアムが協働で管理運営する施設です。



二ヶ領せせらぎ館



アクセスマップ

所在地：多摩区宿河原1-5-1

TEL：044-900-8386

アクセス：JR南武線・小田急線
登戸駅下車 徒歩8分

開館日：火～日曜、祝日(第1、3水曜日は休館)
10:00～16:00

○大師河原水防センター

国土交通省が管理する大師河原河川防災ステーションの一角にあり、多摩川の洪水時などの防災活動、自然環境、歴史や文化の情報発信・環境学習を行う拠点として、川崎市とNPO法人多摩川干潟ネットワークが協働で管理運営する施設です。



大師河原水防センター



アクセスマップ

所在地：川崎区大師河原1-1-15

TEL：044-287-7882

アクセス：京急大師線 東門前駅下車 徒歩7分

開館日：水・木・土・日曜、祝日
10:00～16:00

○多摩川の情報誌



多摩川エコミュージアム



多摩川干潟ネットワーク

新多摩川プランについて、過去の資料も含めもっと知りたい方は、こちらのURL又はQRコードを参照ください。

URL：
<https://www.city.kawasaki.jp/530/page/0000020806.html>



V.つながりを深めて魅力的な流域へ

■コラム 多摩川スカイブリッジの开通について

～川崎市と羽田空港をつなぐ【多摩川スカイブリッジ】が开通します～

この橋は、多摩川の河口から1番目、世界との玄関口である羽田空港へつながる橋であり、国際競争力の強化に向け、羽田空港周辺地域及び京浜臨海部の連携を強化し、多摩川両岸の成長戦略拠点の形成を支えるインフラとなります。この橋の整備により、成長戦略拠点として、このエリア全体の価値・魅力が一層高まることが期待されています。

1 路線名：

都市計画道路殿町羽田空港線・都市計画道路補助線街路333号線及び環状第8号線

2 开通区間：

川崎市川崎区殿町三丁目から東京都大田区羽田空港二丁目

3 开通日時：

令和4年3月12日(土) 15時

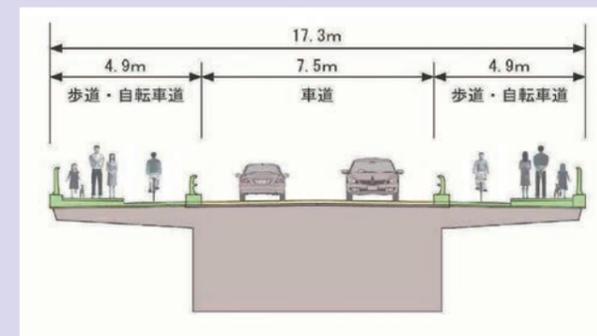
多摩川スカイブリッジ
についてはコチラ▶



事業については
コチラ▼



多摩川スカイブリッジ
(川崎市側から羽田空港方面を望む)



断面図



アクセスマップ

自然と調和した
美しい多摩川へ

多摩川を知り
災害から市民を守る

子どもの生きる力を
育む場の創造

多摩川ともに歩む
みんなの暮らし

つながりを深めて
魅力的な流域へ

自然と調和した
美しい多摩川へ

多摩川を知り
災害から市民を守る

子どもの生きる力を
育む場の創造

多摩川ともに歩む
みんなの暮らし

つながりを深めて
魅力的な流域へ

令和3年度川崎市新多摩川プラン実施事業一覧表

Table with columns: 区画No., 推進施策, 事業No., 実施事業, 担当課, 令和3年度取組状況. It lists various environmental and community projects across different wards like Atsugi, Minami-ku, and Tamagawa-ku.

Table with columns: 区画No., 推進施策, 事業No., 実施事業, 担当課, 令和3年度取組状況. It continues the list of projects, including disaster prevention, water environment improvement, and cultural activities.

自然と調和した美しい多摩川へ

多摩川を知り市民を守る

子どもの生きる力を育む場の創造

多摩川ともに歩むみんなの暮らし

つながり流域へ

自然と調和した美しい多摩川へ

多摩川を知り市民を守る

子どもの生きる力を育む場の創造

多摩川ともに歩むみんなの暮らし

つながり流域へ

Table with 6 columns: 実施No., 推進施策, 事業No., 実施事業, 担当課, 令和3年度の取組状況. Rows include various initiatives like '自然と調和した美しい多摩川へ' and '多摩川を知り市民を守る'.

Table with 6 columns: 実施No., 推進施策, 事業No., 実施事業, 担当課, 令和3年度の取組状況. Rows include initiatives like '河川空間の新たな利用促進' and '多摩川を活用したイベントの開催'.

自然と調和した美しい多摩川へ

多摩川を知り市民を守る

子どもの生きる力を育む場の創造

多摩川とともに歩むみんなの暮らし

つながりを深めて魅力的な流域へ

自然と調和した美しい多摩川へ

多摩川を知り市民を守る

子どもの生きる力を育む場の創造

多摩川とともに歩むみんなの暮らし

つながりを深めて魅力的な流域へ